



各種講座をご用意しています！

当センターではボランティア、市民活動、まちづくりなどに役立つ様々な講座、セミナーを実施中です。

～仲間のしるしに。活動資金集めに。～ 缶バッジをつくろう！

たかが「缶バッジ」とあなどることなかれ！缶バッジは身につけて歩ける広報ツール。缶バッジ作りを体験して今後の活動に活かしてみませんか？

- 日時 2013/3/8(金) 昼の部 14:00～16:00 / 夜の部 19:00～21:00
- 場所 松阪市市民活動センター
- 講師 松阪市市民活動センター副センター長/フリーランスデザイナー 澤卓哉
- 定員 昼/夜 各 10名 参加費 800円(諸経費を除き被災地支援として募金します)

講座のお申込みはコチラ

氏名・住所・連絡先を下記のいずれかの方法でお伝えください。

TEL : 0598-26-0108 (平日10:00～22:00)
 FAX : 0598-25-3803
 E-mail : katsudou@ma.mctv.ne.jp

これまで開催した講座



～モノクロ印刷機活用術～

アナログ広報のススメ！

1/24 開催
 昼の部 14:00～16:00
 夜の部 19:00～21:00

モノクロ印刷機(輪転機)の具体的な活用方法に焦点をあてた講座でした。写真は実際に当センターの印刷機でコツを説明する様子です。



※当日は内容を一部変更して実施いたしました。



ラウンジにある市民活動展示スペース “街の小さな〇〇空間”をご活用ください！



2月14日～3月1日までの期間、センターラウンジの展示スペース「街の小さな〇〇空間」にて、登録団体の「富弘美術館を囲む会」が「大ちゃんの不思議な国アート写真展」を展示されました。自閉症である「大ちゃん」の作る粘土作品の写真展です。自閉症について多くの人に知ってもらおうと、新聞社などに記事掲載依頼もして、積極的にPRしてみえました。登録団体であれば無料で利用できる展示スペースです。団体の活動に是非お役立てください。

センターからのお知らせ

◎初午大祭 休館のお知らせ ▶ 3月4日(月)・5日(火)

※会議室のご予約もできません。予めご了承ください。

ちょこつと編集後記

今回のアロマから新年度版の発行になります。気持ちも新たに編集に取り組みます。デザインも変更しようかな？【S】

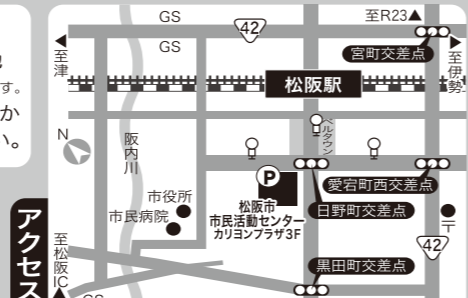
松阪発信！市民活動の情報紙 **アロマ** 次号は2013年4月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2013年3月31日(日)です。担当/澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日/10:00～22:00 松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

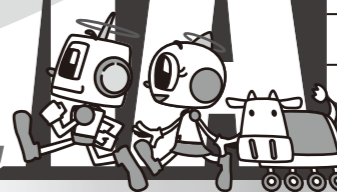
利用	会議室	機材等
	大会議室……机10 椅子30 (600円) 小会議室1…机4 椅子12 (150円) 小会議室2…机6 椅子18 (200円) 小会議室3…机4 椅子12 (150円) 料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室……机8 椅子24 (400円)	印刷機(紙持込) / コピー機 マイク / プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
<http://www.katsudou.com>
 ▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
<http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>



AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity



〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00
 (予約専用)
 TEL 0598-25-3801
 0598-26-0108
 FAX 0598-25-3803
 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

～アロマ～ No.45

ち ようど2年前に起こった東日本大震災は、大津波や福島原発事故など2次災害、3次災害まで大きな被害をもたらした。特に放射能が及ぼす影響について、テレビや新聞、インターネットからさまざまな情報が溢れ、不安を抱いた人も多いのではないだろうか。「あおむしの会」の代表・前田明子(まへだ・あきこ)さんもその1人だった。子どもを守るためにちゃんと知識を得たい、と原発の勉強会などに参加。その中で「ここで得た知識を子育て中の母親たちにも伝えなければ」という気持ちが強まった。そして昨年3月、友人であり母親仲間だった植西美貴(うえにし・みぎ)さんとともに、子育て世代の母親たちが情報交換や交流を通じ、環境や食に関する知識を学び合うことを目的とした「あおむしの会」を結成。精力的に勉強会、料理教室、音楽イベントなどを開いた。



今号は…あおむしの会 さんです

代表の前田さん(写真左)とメンバーの植西さん



料理教室の様子

1 年目の活動を振り返り、「活動に共感してもらうための“伝え方”の重要性を学びました」と語る前田さん。最初に取り組んだのは勉強会。放射能について学ぶことを目的に呼びかけ、小さな子を持つ若い女性から、子育てを終えた“母親の先輩”、原発問題に興味のある人まで20～50代の幅広い男女が参加した。続けるうちに核となるメンバーはできてきたが、それ以上の共感を広げる難しさにも直面した。「『よくわからない』と自分ごととして捉えない人も多い」と植西さん。親しかった母親仲間も真剣に考える人とそうでない人に分かれ、心細さを感じることもあったという。

子 どもの未来を考えると、社会で起こっていることに無関心ではいられない。知識をもったうえで判断できる“賢い母”になるとともに、母ならではの視点で周りの意識を少しずつ変えていければ」と前田さん。大切な人の健康を考えて生活を見直していきたい、情報交換しながら子育てに役立つ食やくらしの知識を得たい……という人はぜひいちど問い合わせてみてはいかがだろうか。

【お問合せ】あおむしの会
 TEL : 090-1417-2351 (前田さん)

報告

賑やかに開催! リユースPC寄贈式 & チラシコンテスト表彰式



2月16日(土)、「みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム」の寄贈式がアスト津にて開催されました。主催は認定NPO法人イーパーツ(本拠地東京)、実施主体は当センターを含む「みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム実行委員会」です。企業からのリユース(再生)パソコンを市民活動団体・NPOなどへ寄贈し、その情報化を支援することを目的に取り組むプログラムで、松阪地域が加わってから今年で7回目の開催となります。三重県全域の市民活動団体を対象に公募、厳正なる審査の結果、23団体に38台、当センターを窓口としてご応募いただいた5団体に6台のリユースPCが寄贈されました。

当センター窓口の寄贈団体(50音順)

- ・アタック! 局ヶ岳実行委員会
- ・笑びすや農園
- ・CB松阪
- ・掬水まちづくり協議会
- ・よみがえれ大又川 連絡協議会

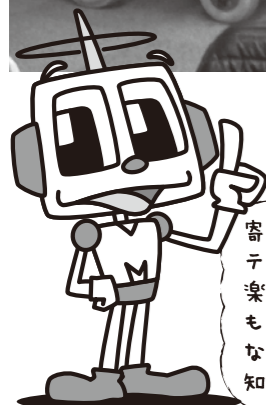


また、このプログラムと連動した新たな取り組みである「ワードで作るチラシ・パンフレットコンテスト」の表彰式も同時開催されました。公募で集められた「ワードで作られたチラシ」を、実行委員会(※)が「パソコンの技術」と「チラシの完成度」の視点で事前審査を行いました。その結果、優秀賞に「みえきた市民活動センター(桑名)」、大賞に「あおむしの会(松阪)」が選ばれました。

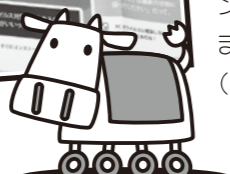
※このコンテストの審査委員長は、フリーランスデザイナーでもある当センターの副センター長が努めました。



チラシコンテストの優秀賞にはコピー用紙が7,500枚。大賞にはコピー用紙7,500枚とプロジェクターが送られました。今後の活動に役立ててくださいね!



寄贈式では、パソコンのセキュリティに関する知識を“さぐるく”を楽しみながら学べる「セキュろく」も行われました。難しく捉えがちなパソコンセキュリティについて知るきっかけとなったようです。



告知

～円卓会議による対話を重ね創り上げた事例集～ 「新しい公共ヒント集」記念フォーラム開催



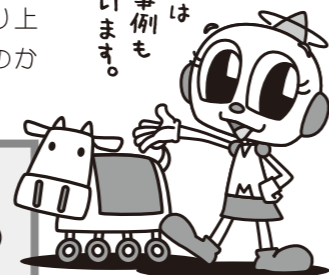
「新しい公共」を三重県として推進するための事例集、「新しい公共ヒント集」の完成記念フォーラムが開催されます。このヒント集は、松阪地域を含めた県内8地域で実施した「地域円卓会議(全3回実施)」から出された意見を元に「三重県円卓会議(全4回実施)」を実施し、中間案を作成。更に一般からパブリックコメントを募集し、全行程として約1年をかけて完成されました。当日、「新しい公共をみんなのものにするためには」というテーマで語られるパネルディスカッションに、三重県知事もパネラーとして参加予定です。市民の声を取り入れて創り上げられたこのヒント集を、今後、県民の社会生活にどのように生かしていくのかを考えるために開催される記念フォーラムです。是非ご参加ください。

と き: 3月23日(土) 14:00~16:00

と ころ: 県庁講堂(ご来場の際は公共交通機関をご利用ください)

申込不要
参加無料

掲載された事例も
掲載されたいかも。



告知



当センター登録団体のミズ・ネットワーク松阪さん主催の「松阪まちなかお雑さま祭り」も今回で7回目の開催となります。今年も当センターのキャラクター“マッハ君”、“ミライちゃん”がお雑さま姿になって皆様をお出迎えていますよ。松阪駅前の商店街を彩るお雑さまを眺めながら街中散策をお楽しみください。

2月16日(土)~3月3日(日)

※当センターの開館時間 平日10:00~22:00(日曜休館)

今回も「美味し国三重ひな街道」との共同開催。いなべ市、亀山市、伊賀市、津市、松阪市、明和町、伊勢市の県内7地域でお雑さまが飾られています。

市民活動用語解説コーナー

【Vol.4】



このコーナーでは、市民活動に関わりのある「コトバ」をピックアップして解説していきます。

CSR(シー・エス・アール)

CSRはcorporate social responsibilityの略。一般的に「企業の社会的責任」と訳されます。企業が利益を追求するだけでなく、あらゆる利害関係者(消費者、投資家等、及び社会全体)や環境に対して責任ある行動や社会貢献活動を行う上での概念です。CSRは大企業、中小企業、個人商店など規模の大小、またその地域を問わず関わるべき取り組みとなりつつあります。地域に密着したCSRの展開は消費者、従業員、投資家などからも求められる時代です。また、国際標準化機構(ISO:アイ・エス・オー)では、この概念は企業に限らないという見地から、社会的責任(social responsibility:SR)の呼称で国際規格「ISO 26000」を策定しました。地域社会において企業は「市民」でもあります。私たちひとりひとりが社会への関わりを見直す時代なのかもしれないですね。

と、いうことで改めて...

身近なCSRを探して vol.17

社長自らがインストラクター 観察会で自然の大切さ伝える



有限会社 寿総合食品 三重県松阪市松崎浦町315番地16
[TEL] 0598-51-7188 [HP] <http://www.kotobuki-fr.com>

松阪港のほど近く、松崎浦町にある「寿総合食品」。あおさの佃煮をはじめ、地域の資源を活用した食料加工品をつくらしているこの企業では、毎年、松阪市子ども会連合会と連携して、市内の小学生へ向けた自然観察会をひらいています。「海の恵みをいただいて仕事をしているのだから、次世代を担う子どもたちにも海の大切さを伝えたい」と代表取締役社長・瀧本実三(たきもと・じつぞう)さん。「ただ知識を伝えるだけではなく、子どもたちが実際に自然に触れるなかで得る気づきを大切にしたい」と社長自らがインストラクターとなり、年間通して海と川、山のつながりが分かる観察会を企画しています。春には松名瀬海岸で潮干狩り、夏には阪内川で生き物調査、秋には松阪市内の山でどんぐり拾い...と山の豊かさが川を通じてと海に恩恵をもたらすことが分かるようプログラムを組み、毎回100名程度の子供たちが参加し、好評を博しています。すぐに成果は見えなくても、何十年後の豊かな未来を見据えた重要なCSRといえます。